

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証) ※令和3年度繰越事業分を含む

R6.2.7 更新

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
1	単	緊急経済対策事業費 (産業支援センター)	①市内消費が著しく減少する中で、事業継続に意欲ある市内事業者を緊急支援する(緊急経済応援給付金)。 ②③ 売上減少率及び雇用人数によって1社あたり100~300千円を給付する。 対象者:740件(実績、実績143,000千円) 300件(見込、予定額100,000千円) 事務費104千円(一般財源) ④市内に本社を有する中小企業、個人事業者等	R2.5.15	R3.5.17	223,313,944	183,872,036	緊急経済応援給付金 ・2回実施 ・令和2年度 944件交付 ・令和3年度(繰越分) 400件交付 計 1,344件	売上が減少した市内事業者への支援を通じて、地域経済の安定につながった。 ・2回目の申請手続きは、簡素化されており、受付の際に商工団体に細かく教えてもらい助かった。 【対象者等からの評価】
2		緊急信用保証料補助金	①ー ②ー ③令和2年新型コロナウイルス感染症対策資金については、上限400千円 一般資金(借換)、経営改善長期借換資金等については、上限100千円 ④県制度融資を利用する市内事業者、個人事業者	R2.4.13	R3.3.31	218,000	0	○交付件数 5件	制度周知が徹底されず、金融機関が知らないケースもあった。 【担当課評価】 資金繰りに苦慮する事業者にとって、融資を受けやすい環境を整えることが出来た。 【対象者等からの評価】
4	単	一般廃棄物処理施設衛生確保対策事務費 (環境衛生課)	①感染症予防対策として指定管理施設等用のマスクを購入する。 ②③一般廃棄物処理施設(市施設)の従事者用マスク購入経費 78,000円×2カートン(4,000枚)×1.1(税)=172千円 ④廃棄物処理施設、斎場	R2.4.30	R2.5.27	171,600	171,600	マスクの配布 ・益田市斎場 2,000枚 ・益田市下波田埋立処理場 2,000枚	感染症予防対策につながった。 【担当課評価】
5	単	妊婦へのマスク供給事務費 (子ども家庭支援課)	①感染症予防対策として市備蓄用及び国配布マスクを配布する。 ②③ イ感染予防マスク配付経費 ・初回690円×160人=111千円 ・2回目以降94円×160人×11カ月=166千円 ロ封筒代 10千円 ④妊婦及びその家族	R2.4.20	R2.12.31	190,444	190,444	○市備蓄用使い切りマスク(1人50枚) 妊婦361人に配付 ○国布マスク(1人月2枚) 318人に配付	マスクを配付したことにより、妊婦及びその家族の感染予防対策につながった。 【担当課評価】 マスクが不足しており不安に感じている中、配布をしてもらい助かる。安心して妊娠期を過ごすことができる。 【対象者からの評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
6	単	ブックファースト事業費(協働のひとづくり推進課)	①在宅時間を有意義に過ごすため、市立図書館における図書等の拡充及び感染防止対策を実施する。 ②③ イ図書館図書購入 ・一般書 1,000タイトル×1.1×2,050円=2,255千円 ・児童書 1,700タイトル×1.1×2,050円=3,834千円 ロ図書消毒器購入 一式 1,000千円 ④市立図書館	R2.7.3	R3.3.31	7,089,000	7,089,000	○調べ学習図書及び子どもに読ませたい優良図書、リクエスト図書の購入を行った。 ○図書消毒器購入 設置日:令和2年10月21日 購入金額:1,122,000円	○図書の充実により、在宅時間の有意義な過ごし方につながり、感染拡大防止に寄与したものと考えられる。 ○図書消毒器の導入により、感染拡大防止に寄与するとともに、利用者が安心して図書館を利用できる環境づくりにもつながった。 【担当課評価】 ○利用者アンケートより、下記のような声をいただいた ・図書消毒機の購入は、安心につながり大変嬉しい ・図書の充実が図られ、読んだことがない作家の本に触れることができた 【利用者からの評価】
7	単	経済活動回復支援事業費(産業支援センター)	①新型コロナウイルスの影響の長期化を見据えて、新たな「地産地消や地域循環」「新たなコミュニティの創出」に向けた取組を支援する。 ②③ 地域経済の回復及び地域活性化を目的として、地域の団体が実施する事業経費を支援する。 ・地産地消の推進、地域内循環の向上その他地域経済の活性化に資する事業 ・本市全域の情報発信等の強化を目的とする事業 ・1事業につき4,000千円を上限 ④商工団体等(商工会議所、商工会、商店会など)と観光協会、任意団体	R2.7.10	R3.3.31	9,915,000	9,915,000	・交付件数 6件	各団体において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮した地域経済の向上及び情報発信等の取組を行うことができた。 【対象者等の評価】

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証) ※令和3年度繰越事業分を含む

R6.2.7 更新

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
8	単	タブレットを活用した学習 推進事業費 (学校教育課)	①国のGIGAスクール構想の実現に向けた、タブレットを整備する。 ②③ ・タブレット端末購入(カバー・セキュリティソフト込) @ 41,500円(税抜)×200台×1.1 = 9,130千円 ・運用保守料 一式 1,100千円 ・モバイルルーターレンタル(学校外での活用対応) @ 30,244円(税抜)×20台×1.1 = 666千円 ・導入、整備等に係るパートタイム会計年度任用職員の 雇用(6ヶ月分) 992千円 ④ 小中学校及び児童生徒	R2.7.6	R3.3.31	11,885,974	11,885,974	○タブレット端末購入 200台購入及びモデル校へ配置(8月) ○モバイルルーターレンタル 休業期間の利用を想定し、モデル校へルーター20台を貸出(12~1月) ○会計年度任用職員任用 タブレット端末整備等にかかる事務・調整を行った。(7~12月)	先行的に1人1台環境を提供できたことで、臨時休業等に対応するための経験や課題を得ることができた。そのことで本格導入時のスムーズな導入につながった。 【担当課評価】 実際に端末を用いた授業を行うことで、今後の教材研究の参考となった。 端末を用いた様々な事例を実践することができた。 【学校教職員評価】
9	単	子育て世帯支援活動事業 (子ども福祉課)	①子育て世帯に対する新型コロナウイルス対策への支援 ②交付金、事務費 ③ イ 給付金 ・受給対象者 5,622人×10千円 = 56,220千円 ロ 事務費 ・人件費(給与・共済費) 631千円 ・消耗品 48千円 ・郵券料 256千円 ・システム改修費 1,155千円 ④児童手当受給者(世帯)	R2.8.31	R3.3.31	58,272,234	58,272,234	益田市子育て世帯臨時特別給付金(市独自事業) ・一般・施設受給者分 2,721件 48,330,000円 ・公務員・別居監護受給者分 454件 7,890,000円	新型コロナウイルス感染症のまん延により、就労機会の制限に伴う収入の減少、感染に備えた新たな負担の発生その他の経済的な影響を受けやすい子育て世帯に対し給付金を支給することで、当該影響に備えるための臨時特別的な支援をすることにつながった。 【担当課評価】 ・十分家計の支えとなった。 ・やや、家計の支えとなった。 【受給者からの評価】

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証) ※令和3年度繰越事業分を含む

R6.2.7 更新

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
10	単	医療機関支援事業 (健康増進課)	①新型コロナウイルス感染症対策により負担が増える医療機関等に対して、安定した医療提供体制の維持を目的に給付金を支給する。 ②③④ 給付金 49,810千円 ・病院(3か所) 19,000千円 ・診療所(33か所) 10,980千円 ・歯科診療所(24か所) 7,250千円 ・薬局(35か所) 11,600千円 ・助産所(3か所) 300千円 ・訪問看護ステーション(5か所) 500千円 ・益田市国民健康保険診療施設等への医師派遣調整(1か所) 180千円 需用費 4千円 ・コピー用紙(1箱2,500枚) 2,585円 ・チューブファイル(1個) 1,038円 役務費 12千円 ・郵券料 84円切手×70枚=5,880円 94円切手×60枚=5,640円	R2.8.26	R3.1.8	49,825,143	49,825,143	○益田市医療機関等応援給付金を104か所に支給した。 ・病院(3か所) ・診療所(33か所) ・歯科診療所(24か所) ・薬局(35か所) ・助産所(3か所) ・訪問看護ステーション(5か所) ○益田市国民健康保険診療施設等への医師派遣調整(1か所)	給付金の支給により、感染症対策等で負担が増える医療機関等への支援及び医療提供体制の維持につながった。 【担当課評価】 ・十分、医療提供体制維持の下支えになった。 ・やや、医療提供体制維持の下支えになった。 ・申請手続きは簡潔で分かりやすかった。 【対象者からの評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
11	単	福祉施設等感染症対策事業 (高齢者福祉課、人権センター、障がい者福祉課)	①高齢者施設、社会福祉施設のトイレや空調設備等を改修し、衛生環境等の向上により新型コロナウイルスの感染拡大を防止する。 ②③④ ・益田市立高齢者福祉センター七尾苑 空調設備 8,547千円 ・益田市立デイサービスセンターからおと苑 電動ベッド 316千円 ・益田市立特別養護老人ホーム美寿苑 空調設備4,455千円+ (追加) 14,344千円 食器消毒保管庫2台 1,483千円 ・益田市立老人ホーム春日荘 食器消毒保管庫1台792千円 ・益田市立特別養護老人ホームもみじの里 換気扇・空気清浄機 16,222千円 洗濯機・乾燥機 252千円 電解水生成装置 440千円 ・益田市立匹見高齢者生活福祉センターふれあいの園 浴室サッシ施設内網戸 250千円 空調設備 6,840千円 ・益田市立介護老人保健施設くにさき苑 居室洗面水洗 3,454千円 居室トイレ・手摺 6,160千円 ・益田市立人権センター 空調設備 1,439千円 ・益田市立障害者福祉センター 空調設備 7,295千円	R2.6.22	R3.11.4	68,022,185	68,022,185	○高齢者福祉課 ・益田市立高齢者福祉センター七尾苑 空調設備 7,915,600円 ・益田市立デイサービスセンターからおと苑 電動ベッド 316,415円 ・益田市立特別養護老人ホーム美寿苑 空調設備4,455,000円、 14,300,000円 食器消毒保管庫2台 1,128,591円 ・益田市立老人ホーム春日荘 食器消毒保管庫1台 602,809円 ・益田市立特別養護老人ホームもみじの里 換気扇・空気清浄機 14,297,800円 洗濯機・乾燥機 252,450円 電解水生成装置 440,000円 ・益田市立匹見高齢者生活福祉センターふれあいの園 浴室サッシ施設内網戸 249,920円 空調設備 6,839,800円 ・益田市立介護老人保健施設くにさき苑 居室洗面水洗、居室トイレ・手摺 8,690,000円 ○人権センター 益田市人権センター空調設備の改修を実施した。 ○障がい者福祉課 益田市立障害者福祉センター空調設備 7,095,000円 ・地域交流室、共同トイレ、生活訓練室 ・食堂	○高齢者福祉課 感染対策について高度な配慮を必要とする高齢者施設において ・空調更新により常時換気可能な環境を整備 ・居室内水栓の更新により非接触での操作可能 ・トイレ手すり更新により、介護職員等の労力軽減や接触時間の短縮 などが図られ感染防止対策につながった。 【担当課評価】 ○人権センター 衛生環境等の向上により感染症予防対策につながった。 【担当課評価】 ○障がい者福祉課 空調設備を改修したことにより、感染症予防対策につながった。 【担当課評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
12	単	診療施設感染症対策事業 (健康増進課)	<p>①市が管理・運営(指定管理含む)する診療所等における新型コロナウイルス感染症対策を講じる。</p> <p>【休日応急診療事業費】3,409千円 ①休日応急診療事業における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための医療提供体制を整備する。 ②③ ア 感染予防消耗品 746千円 イ 看護師経費 194千円 ウ 医療事務員経費 353千円 エ 感染対策機器等 2,110千円 オ 講師謝礼 6千円 ④益田市立休日応急診療所等</p> <p>【歯科診療所管理経費】1,922千円 ①匹見歯科診療所における感染予防対策経費 ②③ ア 窓の修繕(網戸設置) 152,900円 イ 口腔外バキューム 591,800円 ウ 歯科用タービン・ハンドピース 1,176,560円 ④匹見歯科診療所</p> <p>【国民健康保険診療所管理経費】1,584千円 ①国民健康保険診療所に感染予防対策費 ②③ ア 備品 723,250円 イ 消耗品 860,750円 ④国民健康保険診療施設診療所</p>	R2.4.1	R3.3.31	5,639,393	5,639,393	<p>○健康増進課 ◎益田市立休日応急診療所 ・消耗品(サージカルマスク、手指消毒剤、除菌スプレー、フェイスシールド、使い捨てガウン・手袋他) ・備品(体温測定カメラシステム1台、クリーンパーティション4台、空気除菌脱臭器4台、非接触型体温計7本 他)</p> <p>○匹見歯科診療所 ・網戸を4カ所に7枚設置 ・口腔外バキューム1台増設 ・歯科用ハンドピース21本購入</p> <p>◎美都 ・美都診療所に足踏式手指消毒器、非接触体温計を設置・配備した</p> <p>◎匹見 ・<匹見澄川診療所・匹見道川診療所> 匹見地区内2箇所の診療所にそれぞれ下記のとおり実施した。</p> <p>○消耗品の配布 ・マスク145枚 ・フェイスシールド250枚 ・アイシールド300枚 ・ガウン205枚 ・70%アルコール ・手指消毒液 ・ニトリル手袋 ・ハンドソープ</p> <p>○備品の配備 ・非接触型赤外線温度計1個 ・手指消毒器2台 ・スリッパ殺菌ディスペンサー1台 ・空気清浄機1台</p>	<p>○健康増進課 ◎益田市立休日応急診療所 ・マスク等による飛沫の拡散防止や消毒剤での除菌効果等により、感染症予防対策につながった。 ・待合室や診療室内の換気や除菌脱臭ができることにより、感染症予防等医療提供体制の整備につながった。 【担当課評価】 ・設置前と比べ感染リスクが軽減されたと思う。 ・しっかりした感染対策が講じられ安心して利用できる。 ・国の財源を活用してもらいよかった。 【施設職員等からの評価】</p> <p>○匹見歯科診療所 ・網戸設置により換気ができるようになり感染症予防対策につながった。 ・口腔外バキュームは空気環境の汚染を抑制しウイルスの飛散防止に有効なため感染症予防対策につながった。 ・歯科用ハンドピースは患者ごとに交換し滅菌することが勧められており増設することにより、効率がよくなり感染症対策予防につながった。 【担当課評価】 ・網戸設置により、換気の際の害虫侵入防止ができるようになり患者さんも喜ばれている。 ・口腔外バキュームを増設したため、処置時間が短縮され、患者の待ち時間も解消されるため、待合室での感染予防対策につながったと思う。 ・ハンドピースの本数を増やしたことにより、回転率が上がり患者の待ち時間も解消されたため、待合室での感染予防対策につながったと思う。 【施設職員等からの評価】</p>

N O	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
									<p>◎美都 ・診療所の感染症予防対策につながった。 【担当課評価】</p> <p>◎匹見 ・<匹見澄川診療所・匹見道川診療所> ・医療従事者のための感染予防消耗品の配布により診療所に勤務する医療従事者に対する新型コロナ感染防止につながった。 ・センサー式の手指消毒器を配備、スリッパは使用する度に殺菌できるようになり、診療所における感染拡大防止につながった。 ・待合室に空気清浄機をの配備したことにより、ウイルス防止・防じん対策につながった。 【担当課評価】</p> <p>(手指消毒器) ・手をかざすと自動的に消毒液が出るため、ノズルに直接触れることなく衛生的で安心。 (スリッパ殺菌ディスペンサー) ・いつでも殺菌されたスリッパが出てくるため安心。 ・スリッパを投入するだけで殺菌されるため、従業員の作業削減につながった。 (空気清浄機) ・汚れた空気を感知すると自動で空気清浄されるため、きれいな空気を保てて安心。 ・窓を開けた換気が出来ない時も換気ができ、pm2.5やウイルスも感知できて安心。 【診療所職員等評価】</p>

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
13	単	道路感染症対策事業 (土木課)	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、市道の側溝改善を行い、衛生環境の向上を図る。 ②③側溝改修 37.7千円/m×480m≒18,100千円 ④住宅団地内市道側溝	R3.1.28	R3.10.7	18,625,200	18,625,200	市道側溝改善事業 ・側溝改修 547m ・総事業費18,625,200円	側溝改修により道路排水、宅内排水が円滑に通水するよう改善され、衛生環境が格段に向上したことで感染リスクの軽減を図ることができた。 【担当課評価】 自治会アンケート及び聞き取りから、感染リスクが軽減され、交付金活用が有効であったと評価をいただいた。 【近隣住民評価】
14	単	公園施設感染症対策事業 (都市整備課)	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、公園トイレを和式から洋式に改修する。また、使用頻度の高いトイレにおける浄化能力を向上させるため、浄化槽の更新を図る。更に、3密対策として、休憩施設の整備を行う。 ②委託料、工事請負費 ③④ ・設計料(本件全体) 16,000千円 ・工事請負費(トイレ洋便器化:4公園) 45,100千円 トイレ洋便器化 1,187千円/基×38基≒45,100千円 ※各トイレの事情に応じて、所要の管工事、間仕切り変更、ブース改修、床高改修等の工事を行う 単独浄化槽(80人槽)2基→合併浄化槽(80人槽)2基 ・工事請負費(休憩施設改修:2公園) 39,000千円 四阿 12,500千円×2棟=25,000千円(屋根拡張・床材張替工事を含む) 屋根付きベンチ 7,000千円×2箇所=14,000千円	R2.11.4	R4.3.31	99,999,900	99,999,900	○益田市公園便益施設等改修工事プロポーザル資料作成業務委託 ※施設改修工事の早期着手に向け、プロポーザル方式による工事発注資料を業務委託。 15,066,700円(完了) ○益田運動公園徒渉プール改修工事(休憩施設の整備) 49,953,200円(完了) ○益田市公園便益施設改修工事(4公園のトイレ洋便器化、間仕切りブース等の改修) 34,980,000円(完了)	トイレの洋便器化を行った結果、子供から高齢者までだれもが安心して利用できるトイレが実現したとともに、衛生環境が大幅に向上した。 また、運動公園の徒渉プールについて、これまでは夏の炎天下、日陰空間がはずまのみであったため、休憩者が集中し、3密対策が課題であったが、プールサイド3面にシェルターを整備し、休憩者が分散できるようになり、感染症対策が大幅に向上した。 【担当課評価】 徒渉プールについては令和4年度の夏季から利用開始のため、直接利用者からの声は無いが、市内4公園のトイレについては改修前と比べ、使いやすくなって、衛生状態が向上したとの意見を伺っている。 【利用者からの意見】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
15	単	市営住宅感染症対策事業 (建築課)	①衛生環境等の向上により感染拡大を防止するため、市営住宅のトイレを和式から洋式へ改修し、併せて水洗化を行う。 ②③ ・上黒谷住宅排水処理等環境整備工事 13,400千円 合併処理浄化槽 25人槽、トイレ改修 8戸 ・田倉第一住宅排水処理等環境整備工事 20,900千円 合併処理浄化槽 30人槽、トイレ改修 10戸 ④市営住宅入居者	R3.4.6	R3.8.31	34,299,100	34,299,100	○上黒谷住宅排水処理等環境整備工事 13,389,200円 トイレ改修 8戸 合併処理浄化槽 25人槽 ○田倉第一住宅排水処理等環境整備工事 20,909,900円 トイレ改修 10戸 合併処理浄化槽 30人槽	改修に伴い、床の乾式化が進み、雑菌が繁殖しにくい衛生環境によって、感染リスクの軽減を図ることができた。 【担当課評価】 入居者アンケート及び聞き取りから、洋式化による使い勝手及び衛生状態の向上による感染リスクの軽減を喜ぶ回答があった。 【入居者評価】
16	単	学校施設感染症対策事業 (学校教育課)	①新型コロナウイルス感染症対策のための学校施設の消毒業務にかかるスクールサポートスタッフの追加配置を行う。 ②報酬のうち県支出金対象外の部分及び通勤手当など ③パートタイム会計年度任用職員の報酬・通勤手当等 新規任用17名、時数増3名 計3,705時間分 4,552千円 (既存事業費:4,209千円) ④市内小中学校25校	R2.8.25	R3.3.31	4,448,730	523,000	市内小中学校全25校に消毒業務にかかるスクールサポートスタッフを配置した。 計20名(複数校勤務5名)、3,661時間 (8~3月)	スクールサポートスタッフが消毒作業を行ったことにより、感染症予防対策ができた。また、スタッフ配置により、教員が児童生徒対応や教材研究に打ち込むことができた。 【担当課評価】 平常時と異なる環境の中でも子どもたちの安心感につなげることができた。 業務負担の軽減はもとより、精神的な負担の軽減にもつながった。 【学校教職員評価】
17	単	保育士等応援協力金支給事業 (子ども福祉課)	①子どもの居場所を確保し、医療従事者等が安心して働ける環境を維持するため、保育所等や放課後児童クラブで勤務する職員に対して応援協力金を支給する。 ②③ ・時間外勤務手当 800千円 ・消耗品費(封筒、紙等) 174千円 ・郵券料 38千円 ・応援協力金 29,000千円(580人×50千円) ④保育所、幼稚園、認定こども園、事業所内保育事業所、病児保育事業所、放課後児童クラブ等で勤務する職員 【県支出金の財源】保育士等応援協力金支給事業補助金	R2.12.18	R3.3.31	29,250,000	14,625,000	緊急事態宣言中に、市内の認可保育所、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ等で従事していただいた職員へ島根県と市で一人5万円を支給した。 該当人数 578名	施設長等から、職員へ周知した際に、感謝とモチベーションの維持に大いに助かったとの言葉があった。 【施設職員等からの評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
18	単	公共交通事業者支援事業 (連携のまちづくり推進課)	①緊急事態宣言下をはじめ、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、地域公共交通を維持するために運行を継続している交通事業者を支援する。 ②車両の維持支援等 ③ ・乗合バス、乗用タクシー6,900千円(50千円/1台×138台) ・広域バス1,100千円 ④市内交通事業者	R2.9.2	R3.3.31	7,250,000	7,250,000	○車両維持支援金 ・6,850,000円(137台、14社) ○乗合バス事業者特別支援金 ・400,000円(1社)	地域公共交通の維持を図ることができた。 【担当課評価】
19	単	社会貢献活動継続支援事業 (連携のまちづくり推進課)	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けたNPO法人、地域自治組織の社会貢献活動、地域活動の維持・継続のための支援を行う。 ②事業収入の減収補てん ③NPO法人等 700千円(100千円×7団体) 認定地域自治組織100千円(100千円×1団体) ④市内NPO法人、市民活動団体、認定地域自治組織	R2.9.16	R3.3.31	800,000	800,000	事業収入の減収補てんを行った。 ※内訳 NPO法人等 7団体 認定地域自治組織 1団体	事業収入の減収補てんを行ったことにより、事業継続につながった。 【担当課評価】
20	単	緊急経済対策事業 (産業支援センター)	①感染予防対策に取り組む飲食店等の事業所を募集し、市民へ周知するとともに、事業者への啓発を推進する。また登録店舗で利用可能な「応援チケット」を配布する。 ②③チラシ発行及び郵送に係る経費、応援チケットに係る経費 支援額:11,842千円(実績) 事務費:2,183千円 ④9月1日時点(基準日)の世帯主(登録店チラシと1,000円/枚を配布)	R2.8.17	R3.3.31	14,024,935	14,024,935	・感染予防に取り組む店舗269件を掲載 ・全世帯21,285件にチラシ及び登録店で利用可能な「応援チケット」を配布 ・「応援チケット」の利用 11,842枚	・感染予防への取組及びコロナ禍の中で頑張る店舗紹介をすることができた。 ・利用率は55.6%であったが、利用者は「応援メッセージ」を記載し、店舗を応援することができた。 【対象者等の評価】
22	単	関係人口創出事業(連携のまちづくり推進課)	①新型コロナウイルスの影響により、地方回帰の志向が高まっていることから、農業体験や地域の課題解決など、地域住民との対話を重視した体験プログラムを実施し、関係人口を創出し、移住・定住につなげる。 ②体験プログラムを実施に係る業務委託料 ③業務委託料7,645千円 ④市内事業者(随意契約)	R2.11.20	R4.3.15	7,645,000	7,645,000	・就農等の体験プログラム:6回実施、15名参加 ・オンラインツアー:2回実施、37名参加 ・受け入れ団体等の掘り起こし:5地域団体、1企業が本事業での受け入れを実施 ・空き家改修プログラム:1棟	・本事業への参加者のうち、3名が益田市を再訪するなど、関係人口の創出につながった。 【担当課評価】 ・参加者は、益田市での体験を通して、益田の人や暮らしの魅力が伝わっている。(アンケートより) ・受け入れ団体は、参加者が意欲的だった、受け入れたことにより自分も学ぶことがあった等の意見があった。(アンケートより) 【対象者等の評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
23	単	サテライトオフィス等整備 支援事業 (連携のまちづくり推進 課)	①新型コロナウイルス感染症に対応する新しい生活様式の1つとして、テレワークやリモートワーク等の多様な働き方を推進し、関係人口の創出や都市部から地方へ移住・定住の促進を図ることを目的として、市内にサテライトオフィス等を開設しようとする事業者に施設の整備・改修に係る費用の一部を支援する。 ②施設の整備・改修にかかる補助金 ③補助金100万円×5件=5,000千円 ④市内にサテライトオフィス等を開設しようとする事業者	R2.10.23	R3.3.31	3,000,000	3,000,000	コワーキングスペース3件の開設支援	コワーキングスペースが開設されたことにより、益田市においてテレワーク等の多様な働き方が可能となった。 【担当課評価】
24	単	市内旅行事業者支援事業 (観光交流課)	①新型コロナウイルス感染症の影響を受ける観光事業を支援するため、市内旅行事業者に対して旅行商品等の販売実績に応じた助成を行う。また、国のGo Toトラベル等の利用について、市内旅行会社からの購入を促進するための情報発信を行う。 ②〔委託料〕情報発信に係る経費 〔負担金補助及び交付金〕旅行商品助成(日帰り・一泊以上分) ③〔委託料〕情報発信に係る経費(チラシ作成・折込等) 572千円 〔負担金補助及び交付金〕日帰り分1,500円×400人=600千円 一泊以上分 4,000円×600人=2,400千円 ④市内に本店又は営業所を置く旅行事業者	R2.10.15	R3.3.31	3,248,703	3,248,703	旅行事業者5社へ、宿泊旅行助成733人分、日帰り旅行助成144人分の補助金を交付した。 ※市内旅行(誘客)197人 空港利用103人	市内旅行(誘客)による経済対策につながった。 【担当課評価】
25	単	観光地施設感染症対策事業 (観光交流課、匹見地域 振興課)	①道の駅「サンエイト美都」やウッドパーク食堂の新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設改修を行う。 ②屋外洗面所、食堂のトイレ改修工事 ③屋外洗面所改修600千円(3ヶ所)、食堂のトイレ改修等11,324千円 ④益田市	R2.12.22	R3.10.8	11,545,600	11,545,600	○道の駅「サンエイト美都」の屋外洗面所(3箇所)を改修した。 ・道の駅サンエイト美都屋外トイレ設備改修工事 599,500円(完了) ○ウッドパーク食堂トイレ改修 設計業務委託 1,100,000円 工事請負費 9,846,100円(完了) 主な改修内容 ・男女共用から男女別々に改修 ・大便器の洋式化 ・手洗いの自動洗浄化	改修により感染予防対策につながった。 【担当課評価】 改修により、衛生面の向上はもとより、使用環境が改善された。利用者からも使いやすくなった、きれいになってよかった等の声を頂き、大変喜ばれている。 【使用者からの意見】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
27	単	温泉施設感染症対策事業 (観光交流課)	①美都温泉「湯元館」及び匹見峡温泉「やすらぎの湯」の新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設改修を行う。 ②改修工事及び工事に係る設計委託料、備品購入経費 ③ [需用費] 匹見峡温泉 浄化槽ポンプ、2階男子トイレ等施設修繕 2,802千円 [委託料] 美都温泉 設計委託料(トイレ改修等) 1,220千円 匹見峡温泉 設計委託料(改修工事) 2,850千円 [工事請負費] 美都温泉 吸排気機構機能強化工事 2,500千円 トイレ及び洗面所改修工事 9,700千円 匹見峡温泉 貯湯槽取替工事 15,455千円 駐車場区画線引き工事 330千円 [備品購入費]美都温泉 検温器及び感染症対策機器等 6,341千円 匹見峡温泉 検温器及び感染症対策機器等 13,560千円 ④益田市	R2.11.4	R3.12.13	53,724,253	53,724,253	○美都温泉 [工事請負費] ・美都温泉トイレ外(建築)工事 トイレ床シートの張替、トイレブース等を新設 1,650,000円 ・美都温泉トイレ外(設備)工事 トイレの洋式化等を実施 4,918,100円 ・空気調和改修工事 空調機等を6基配備 7,296,300円 ○匹見峡温泉 [需用費] ・入口看板塗裝修繕 入口看板(1基)の修繕及び上部 看板の取替 1,188,000円 [工事請負費] ・空気調和設備改修工事 フロアー除菌エアコン整備 13,905,100円 ・改修工事 駐車場区画線引き工事 軒樋修繕 2階男子トイレ改修工事 2,085,600円	改修により感染予防対策につながった。 【担当課評価】 改修により、衛生面の向上はもとより、利用環境の改善が図られたことにより、利用者からも使いやすくなった、きれいになってよかった等の声をいただき大変喜ばれている。 【利用者からの意見】
28	単	農業振興施設感染症対策事業 (農林水産課)	①新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農業経営者を支援するため、「匹見農産物加工場」及び「新アグリセンター育苗施設」の改修による生産基盤の整備を行うことで、農産物の生産拡大を図り生産者の収入向上につなげる。 ②③ ・新アグリセンター育苗施設整備補助金 4,295千円 補助率3/4 ・大型共同作業場(匹見農産物加工場)整備費 5,561千円 ④ ・新アグリセンター育苗施設整備補助金 島根県農業協同組合西いわみ地区本部 ・大型共同作業場(匹見農産物加工場)整備	R2.9.24	R3.1.15	9,854,964	9,854,964	○匹見農産物加工場の修繕を実施した。 ・保管庫床パネル修繕 9.72㎡ ・屋根修繕 273㎡ ○新アグリセンター育苗施設の整備を実施した。 ・パイプハウス 7.2×30m1棟 ・パイプハウス 7.2×35m1棟	○匹見農産物加工場施設の修繕等を実施したことで、今後も継続的な営農が可能となり、保管スペースや加工作業動線等を確保したことで、コロナ禍においても、蜜を避けた作業を実施することができた。 ○新アグリセンター育苗施設を育苗施設を整備したことで、苗の高品質化と安定供給の体制を確保し、メロン、トマトをはじめとする主要施設園芸作物生産者の次期作に向けた意欲の醸成と、収入の向上につなげることができた。 【担当課評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
29	単	運動公園感染症対策事業 (協働のひとづくり推進課)	①新型コロナウイルス感染症対策に伴い、市民体育館に空調設備を整備し、スポーツ大会やイベント等が開催できる環境を整えるとともに、指定避難所としての施設環境の改善を図る。また、各施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行う。 ②③ ・市民体育館空調機備品購入費 2,970千円 ・市民体育館空調機設計委託料 1,870千円 ・市民体育館空調機整備工事費 108,130千円 ・非接触型顔認証体温計 1,232千円 タイプⅠ 87,780円×4台 タイプⅡ 440,000円×2台 ・オートスプレー 65千円(10,780円×6個)等消耗品 ④益田運動公園	R2.10.21	R4.2.4	113,790,155	23,587,472	市民体育館 ・事務所外エアコン取替及び設置 2,970千円 ・災害バルク及び空調設備工事〔設計業務委託〕1,870千円〔工事請負費〕108,130千円 ・非接触型顔認証体温計 タイプⅠ 4台 タイプⅡ 2台 ・自動手指消毒器(除菌液含む) 6台 ・二酸化炭素濃度測定器 7台	市民体育館各施設への空調機の新設により、換気機能が向上し、感染拡大防止につながった。 【担当課評価】 ・利用者が安心して施設を利用できる環境が整った ・利用者の増加により、安定した経営に向けた下支えとなった ・感染症対策として評価できる ・以下自由意見 空調設備の新設により、感染症対策及び熱中症対策の観点からも利用者から好評で、夏場の利用者増につながった。 また、市民体育館は災害時の緊急避難所となっていることから、空調環境の改善により、より多くの方の受け入れが可能となった。 密にならずスムーズに入退場でき、利用者から好評である。 二酸化炭素濃度測定器は換気のタイミングが分かりやすく、空間環境の改善により感染リスクの低減につながった。 【施設管理者からの評価(アンケート)】
30	単	フレイル予防対策事業 (高齢者福祉課)	①高齢者の外出控えによるフレイルを防ぐため、支援する環境を整備する。 ②③ フレイルスクリーニングシステム ・システム導入費(委託料) 1,716千円 ・タブレット 5台×130,000円×1.10= 715千円 ・プリンター 5台×40,000円×1.10= 220千円 ・カラープリンター 1台×390,000円×1.10=429千円 ・消耗品費 20千円 ④65歳以上の高齢者	R2.10.23	R3.3.31	3,055,250	3,055,250	フレイルスクリーニングシステム(タブレット、プリンター)を健康増進課、高齢者福祉課に配備 ○タブレット5台、携帯用プリンター(2.10.30納入) 契約金額:935,000円 ○カラープリンター1台(R3.1.26納入) 契約金額:429,000円 ○システム導入委託料 契約金額:1,691,250円	外出控えによりフレイル状態とならないよう、65歳以上高齢者に対しフレイルチェックを行うことでフレイル状態の早期発見や普及啓発につながった。 【担当課評価】 フレイルチェック いきいき百歳体操、高齢者サロン等 31カ所 421人実施

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
31	単	情報教育特別対策事業 (学校教育課)	①学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供するため、国のGiGAスクール構想の実現に向けた、小・中学校児童・生徒用タブレットを整備する。 ②タブレット端末購入に係る経費及び学校のネット回線に関する工事費等のうち、補助対象外経費(補助額108百万円) ③必要額 98,891千円 ・3人に1台分のうち 未整備分:単価76,034円(税込)×427台= 32,466千円 整備済タブレットへのソフト導入費用:単価14,520円(税込)×503台=7,304千円 ・3人に2台分について国からの定額補助(45,000円/台)への上乗せ分 小:上乗単価31,034円(税込)×1,200台= 37,241千円 中:上乗単価16,416円(税込)×1,200台= 19,699千円 ・校内ネットワークVLAN設定費(100人以上の学校で設定) 単価165,000円(税込)×11校=1,815千円 ・回線接続工事及び使用料(8校分)205千円 ・機器保守委託料(0.5月分)57千円 ・タブレット充電用延長コード等消耗品104千円 ④小中学校25校及びその児童生徒	R2.9.23	R3.3.31	98,834,000	98,834,000	○タブレット端末購入 2,827台購入及び配布(3月) ・光回線接続工事等 光回線利用可能校8校に対し、回線接続・プロバイダ工事等を実施(3月) ○イントラネットシステムの設定変更 児童生徒数100人以上の学校10校及び市教委のイントラネットシステムの設定を変更し、多端末同時接続に対応した(3月) ○充電用消耗品購入 タブレット充電用に電源タップ等を購入し配布した(3月)	感染症対応のため臨時休業となった場合でも、切れ目ない学習環境を構築できるようになった。導入後、現時点では臨時休業は免れているが、濃厚接触等で自宅待機となった児童生徒がオンラインでつながり、学習を進めるなど、学びを止めないための環境が確実に整ってきている。 【担当課評価】 1人1台端末となることで、新しい学びのかたちを実現することができる。学校に登校できない場合でも、状況に応じて学習を進めやすくなった。 【学校教職員評価】
32	単	消防設備感染症対策事業 (消防署)	①感染防止対策資機材を購入配備し、新型コロナウイルス感染症に対してより安全に救急業務を遂行するとともに、消防職員間の感染リスクを軽減する。 ②搬送用アイソレーター搭載型高規格救急車、消防職員個人配備用シュラフ及び救急業務用感染防止資機材の購入経費とする。事業主体は益田市・津和野町・吉賀町で構成する広域事務組合となるため、益田市負担割合(65.48%)分を費用として計上する。 ③ ○高規格救急車:総額:1台=33,440,000円(消費税等含む) うち益田市負担額:21,896千円 ○シュラフ:@9,950円×120枚×1.1=1,313,400円 うち益田市負担額:860千円 ○感染防止資機材 ・感染防止衣(上下衣):@1,740円×1,000着=1,740,000円 ・シューズカバー :@17,000円×2箱=34,000円 ・サージカルマスク :@1,100円×22箱=24,200円 ・消毒用エタノール :@804円×340本=273,360円 ・廃棄物保管ボックス :@6,480円×3個=19,440円 ・N95マスク :@12,000円×12箱=144,000円 小計 2,235,000円 消費税等 223,500円 総額:2,458,500円 益田市負担額:1,610千円 ④益田広域消防本部	R2.10.27	R3.5.27	24,366,000	24,365,840	○高規格救急車 六日市分遣所へ配備 ○シュラフ ・シュラフ 120枚を全職員に配布 ○感染防止資器材 ・感染防止衣(上下衣) 1,000着 ~500着使用 ・シューズカバー 2箱 ~1箱半使用(1箱:800枚) ・サージカルマスク 22箱 ~すべて使用済 ・消毒用エタノール 340本 ~310本使用 ・廃棄物保管ボックス 3個 ~益田署、津和野、六日市で使用 ・N95マスク 12箱 ~3箱使用(1箱:50枚) 各署所へ配備し使用	○高規格救急車 六日市管内での搬送等使用実績なし ○シュラフ 職員間に感染者が発生した場合に寝具からの感染リスクの低減化を図るために購入した。使用実績なし ○感染防止資器材 救急出場時における感染症対策につながった。 【担当課評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
33	単	庁内ネットワーク環境整備事業 (情報システム課)	①庁内の会議室等へインターネット環境を整備し、テレビ会議等の活用を図る。また、会議室等へ庁内ネットワーク接続用ポートを設置し、執務室の分散化や業務の効率化を図る。 ②機器導入及び設置に係る経費、事前調査等に係る会計年度任用職員雇用経費 ③ イ整備経費 ・委託料 9,585千円 ロ雇用経費 ・給料 1,354千円 ・職員手当等 467千円 ・共済費 252千円 ④ イ 本庁舎、駅前ビルEAGA等出先機関(無線AP18台、接続用ポート11カ所) ロ 会計年度任用職員(1名・8か月)	R2.8.19	R4.3.31	11,620,377	11,620,377	○庁内の主要会議室へ各ネットワークを整備 【整備箇所】 会議室9箇所(本庁舎本館4箇所、分館2箇所、駅前ビルEAGA3箇所) 【整備内容】 ・各ネットワーク接続ポートの整備(LGWAN系、基幹系、IP電話系) ・AP機の整備(インターネット系) ○端末機器の整備 感染症等流行による窓口担当課封鎖時に、主要証明書が発行可能なノートPC及びプリンター各6台を整備	庁内各課で実施している通常業務を主要会議室で利用できるような環境を整備したことにより、緊急時の執務室分散化(密の回避)や業務効率化など柔軟な対応が可能となった。 また、インターネット環境を整備したことにより、庁内でのテレビ会議の利便性が向上した。 【担当課評価】
34	単	本庁舎等の感染症対策事業 (総務管財課、議会事務局、税務課)	①本庁舎等の窓口、本会議場等における新型コロナウイルス飛沫防止対策を講じる。 ②飛沫防止対策のためのアクリル板等の購入経費を交付対象経費とする。 ③アクリル板等 ・アクリル板 180枚 852千円 ・アクリル板(議会用) 7枚 308千円 ・接触型体温計(議会用) 2台 14千円 ・卓上パーテーション 23台 119千円 ・ホームパーテーション 40台 1,155千円 ・非接触型体温計 7台 40千円 ・消毒液等 96千円 ・机 22台 557千円 ・椅子 32脚 299千円 ・サーキュレーター 3台 50千円 ④本庁・市立保健センター・美都・匹見総合支所	R2.9.4	R3.2.12	3,488,020	3,488,020	○議会事務局 ・議場の発言席にアクリル板を設置 ○総務管財課 ・アクリル板180枚を本庁舎窓口等(42箇所)に配備 ○税務課 ・卓上パーテーション 23台 ・ホームパーテーション 40台 ・非接触型体温計 7台 ・机 22台 ・椅子 32脚 ・サーキュレーター 3台 ・消毒液等 3会場(本庁、美都、匹見支所)に配備及び15会場(公民館)で使用	○議会事務局 ・アクリル板の設置により、議場での発言時の感染症予防対策につながった。 ○総務管財課 ・アクリル板配備により、感染症予防対策につながった。 ○税務課 ・感染症対策を講じた中での申告相談を実施することで、より安全性の高い相談会場の運営実施ができ、感染症予防対策につながった。 【担当課評価】

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証) ※令和3年度繰越事業分を含む

R6.2.7 更新

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
35	単	上下水道安定処理対策事業 (上下水道部)	①上水道事業の水の安定供給、下水道事業の汚水安定処理の体制維持に必要な通信環境等を整備し、執務体制の分散化可能な環境を整える。 ②③ 益田市下水道事業会計、益田市水道事業会計に繰り出し、次に要する費用を交付対象事業とする。 ・通信ネットワーク整備工事(2ヶ所) 7,290千円 ・エアコン等購入費 1,140千円 ・感染防止対策用品等購入費 910千円 ④益田市上下水道事業	R2.9.9	R3.3.31	9,340,000	9,340,000	○通信ネットワーク整備工事(2ヶ所) ○エアコン設置 2台 ○机 6台 ○椅子 12脚 ○書庫 2台 ○プリンタースタンド 1台 ○プリンター 1台 ○空気清浄器 2台 ○その他感染防止用品	分散執務が可能な環境が整った事により、上水道事業の水の安定供給、下水道事業の汚水安定処理の体制維持が図れるようになった。また、リスクの低減につながり、安全性の高い環境のもとで、現状と同様に執務することができた。 【担当課評価】
36	単	避難所対策事業 (教育総務課)	①災害発生時の感染症対策のため、避難生活における3密対策としてゆとりある避難スペースを確保するべく、多くの人数を収容可能な避難所となっている益田東中学校への進入路を避難路として拡幅することにより、避難者の分散を図る。 ②③ ・避難路樹木伐採業務 5,451千円 ・避難路整備測量設計業務 8,049千円 ・支障電柱移転補償 270千円 ・避難路整備工事 77,700千円 ④益田市立益田東中学校敷地内	R2.8.28	R4.3.29	86,662,458	86,662,458	【実施状況(R2)】 ・避難路樹木伐採業務 5,450,500円 ・避難路整備測量設計業務 8,021,200円 ・支障電柱移転補償 266,072円 【実施状況(R3繰越)】 ・避難路造成工事 62,411,800円 ・避難路舗装工事10,340,000円 ・支障電柱移転補償172,886円	避難路完成により、災害発生時に指定避難所となる益田東中学校へ避難者が密集を回避しながら安心して避難することを可能にすることができた。 【担当課評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
37	単	防災対策事業 (危機管理課)	<p>①新型コロナウイルス感染症対策備蓄品の増加に対応するための防災備蓄倉庫を整備する。あわせて、新型コロナウイルス感染症対策のための備蓄品を購入する。</p> <p>②③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段ボールベッド 14,300円×150個=2,145千円 ・パーティション(間仕切り) 24,200円×100個=2,420千円 ・簡易型避難用テント 8,690円×100張= 869千円 ・発電機用カセットガス 8,250円(36本入)×40個=330千円 ・発電機用オイル 1,650円(1L)×20個= 33千円 ・備蓄トイレ(袋式トイレ) 16,500円(100回分)×40個=660千円 ・非常用飲料水袋6L用 455.4円×4,000個=1,822千円 ・防災備蓄倉庫新築工事設計業務委託料等 4,426千円 ・防災備蓄倉庫新築工事 198,000円/㎡×121㎡=23,958千円 ・建築許可申請手数料等 212千円 ・防災備蓄倉庫進入路設計業務委託料等 4,652千円 ・防災備蓄倉庫進入路設置工事請負費 15,000千円 ・工場扇(スタンド式) 18,920円×20台=379千円 ・発電機 121,000円×20台=2,420千円 ・仮設水槽 550,000円×6槽=3,300千円 <p>④益田市</p>	R2.8.27	R4.2.3	59,964,178	31,664,178	<p>【実施状況(R2)】</p> <p>○防災備蓄倉庫整備については、建築審査会の同意を得ることができ、以下の部分が完了し、残りは令和3年度に繰り越した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築許可申請手数料(建築審査会) ・防災備蓄倉庫進入路整備測量設計業務 <p>○各種備蓄品を以下のとおり整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段ボールベッド40個 ・パーティション400枚 ・折り畳み簡易ベッド350個 ・簡易型避難用テント120張 ・発電機用カセットガス(36本入)40箱 ・発電機用オイル(1L)35個 ・発電機用電源タップ17本 ・備蓄トイレ(100回分)40個 ・非常用飲料水袋6L用4,000個 ・工場扇20台 ・カセットボンベ式発電機20台 ・仮設水槽6槽 ・備蓄用飲料水(2L6本入)90箱(500mL24本入)120箱 <p>【実施状況(R3繰越分)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災備蓄倉庫新築工事設計業務委託料等 4,215,200円 ・防災備蓄倉庫新築工事 30,000,300円 ・建築許可申請手数料等 30,000円 ・防災備蓄倉庫進入路設計業務委託料等 134,459円 ・防災備蓄倉庫進入路設置工事請負費 7,451,400円 	<p>避難所に新型コロナウイルス感染症対策用物資として、段ボールベッド、簡易型避難用テント、工場扇等を購入し、災害時の避難所開設、運営する場合、備蓄物資等を活用した感染防止・予防対策を講ずることで避難者等の感染リスクを軽減するとともに、安心して避難できる環境を整えることができた。また、その感染症対策に資する資機材を配備するための防災備蓄倉庫を東町に整備することができた。</p> <p>【担当課評価】</p>

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証) ※令和3年度繰越事業分を含む

R6.2.7 更新

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
38	単	小中学校網戸設置事業	①市内学校施設の普通教室における3密対策として、教室内の定期的な換気を実施すべく、各教室に網戸を設置し、外からの害虫侵入防止を図りながら児童生徒の良好な教育環境を維持する。 ②③設置経費:8,732千円 ※網戸新規設置経費21,000円/1カ所当(税抜) ※市内小中学校普通教室189室×(21,000円×2カ所)×1.1(千円未満切り上げ) ④市内小中学校普通教室(189室)※既設置教室を除く。	R3.5.20	R3.9.30	7,793,786	7,793,786	市内小中学校網戸設置 (小学校) 益田小学校他12校 5,239,290円 (中学校) 益田中学校他8校 2,554,496円	網戸を取り付けたことにより、定期的な換気時の害虫の侵入を防止することができ、勉強しやすくなった。 【児童生徒からの意見】
39	補	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校での健康診断時に感染症予防のための資材を配付し、感染及び感染拡大への予防を徹底する。 ②保健衛生用品購入費のうち、補助対象経費(1/2補助) ③消毒液等保健衛生用品購入費(小中学校全25校分)350千円 ④市内小中学校25校	R2.6.19	R3.3.5	356,796	175,000	各学校において感染症対策として、手指消毒液やペーパータオルの購入などを行った。 【主な購入品】 ・手指消毒液41.5L/25校 ・使い切り手袋10,000枚/23校 ・ペーパータオル110個/23校	各学校へ手指消毒液の配布を行い、手指消毒の徹底を図ったことで感染症予防対策ができた。また、使い切り手袋及びペーパータオルを配布することにより、感染症予防対策をしたうえで学校健診を実施でき、児童生徒の健康管理ができた。 【担当課評価】
41	単	新生児特別給付金事業(子ども福祉課)	①国の特別定額給付金の対象外であった令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児がいる世帯に対し益田市独自に給付金を支給し子育て世帯への支援を行う。 ②③ 需用費118千円 ・消耗品費 20,000円 ・封筒 550枚×10円×1.1=6,050円 ・広報掲載料 23,300円×2=46,600円 ・事務所光熱費15千円×3月=45,000円 役務費159千円 ・郵券 申請書送付 200世帯×94円=18,800円 申請書返信 350世帯×120円=42,000円 決定通知送付350世帯×84円=29,400円 ・電話料 10,000円×3月=30,000円 ・振込手数料 350世帯×100円×1.1=38,500円 使用料及び賃借料 723千円 ・事務所家賃 218,903円×3月×1.1=722,380円 負担金補助及び交付金 30,000千円 ・給付金 100千円×300人=30,000,000円 ④R2.4.28~R3.3.31までに出生した新生児の保護者	R2.11.30	R3.5.31	28,233,395	28,233,395	益田市新生児特別給付金(令和2年度給付分) 232件(240人) 24,000,000円 (令和3年度給付分) 33件(34人) 3,400,000円	新型コロナウイルス感染症感染防止対策について、高度な配慮を要する妊婦及びその家族の精神的負担の軽減並びに出産及び育児に要する費用の支援につながった。 【担当課評価】 ・十分家計の支えとなった。 ・やや、家計の支えとなった。 ・申請手続きは簡潔で、分かりやすかった。 【受給者からの評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
42	単	文化施設等感染症対策事業 (協働のひとづくり推進課)	①文化施設等における感染症拡大防止を行う。 ②③④ ・益田市立雪舟の郷記念館 1,360千円 空調整備等 1,261,000円 非接触型顔認証体温計 87,780円、オートスプレー等10,780円 ・子ども若者支援センター 99千円 非接触型顔認証体温計 87,780円、オートスプレー等10,780円 ・市民学習センター 296千円 非接触型顔認証体温計 263,340円、オートスプレー等32,340円 ・ふれあいホールみと 99千円 非接触型顔認証体温計 87,780円、オートスプレー等10,780円 ・秦記念館 99千円 非接触型顔認証体温計 87,780円、オートスプレー等10,780円 ・美濃地屋敷 99千円 非接触型顔認証体温計 87,780円、オートスプレー等10,780円 ・公民館 1,873千円 非接触型顔認証体温 1,667,820円、オートスプレー等204,820円 ・図書館 451千円 非接触型顔認証体温 440,000円、オートスプレー等10,780円	R2.8.26	R4.2.4	4,849,445	4,849,445	・益田市立雪舟の郷記念館空調設備取替及び設置 1,260,600円 ・非接触型顔認証体温計 タイプⅠ 28台 タイプⅡ 2台 ・自動手指消毒器(除菌液含む)31台 ・二酸化炭素濃度測定器 28台 ・オゾン発生器 6台	・同施設の展示室は換気設備が整っておらず、美術品の適切な保管の観点から、窓を開けての換気も難しい状況であった。そうした中、導入した空調設備は循環ファン機能を有しており、展示室内の換気が可能となり、感染拡大防止に寄与したものと考えられる。 ・非接触型顔認証体温計及びオートスプレー等の設置により、感染予防対策につながった。 【担当課評価】 ・利用者が安心して施設を利用できる環境が整った。 ・入館者の確保に向けた支えとなった。 ・感染症対策として評価できる。 ・非接触型顔認証体温計の反応が悪い。 【施設職員からの意見】
43	単	電子調達システム負担金 (総務管財課)	①新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度予定していた次期入札参加資格者名簿審査事務を1年延期し、現行名簿の有効期間を1年延長する。これに対応させるため、島根県と共同利用している電子調達システムの構成要素である資格申請システムのプログラムを改修する。 ②システム改修委託に係る負担金 ③島根県から提示された利用団体別負担金額から386千円 ④島根県が管理する資格申請システム	R2.10.25	R3.2.4	383,471	383,471	島根県と共同利用している電子調達システムの構成要素である資格申請システムのプログラムを改修し、次期入札参加資格者名簿審査事務を1年延期し、現行名簿の有効期間を1年延長した。	新型コロナウイルス感染症対策による業務が増えている中、入札参加資格者名簿審査事務を1年延期したことで、事務負担が軽減された。 【担当課評価】
44	補	中小企業経営支援等対策費補助金	①事業継続に向けた売上確保のため、コロナウイルス感染症防止対策や新事業に取り組む事業者を県と連携して支援する。 ②③ 感染症防止対策に係る経費、新事業展開に係る経費 補助対象経費の4/5以内(補助下限100千円、補助上限800千円) 対象者:117件(当初分) ④市内中小企業、個人事業者など	R2.6.8	R3.3.31	50,000,000	5,000,000	島根県と連携して「商業・サービス業感染症対応支援事業補助金」 ・延べ 210件	市内飲食店、サービス業者の感染予防対策の推進につながった。 【対象者等の評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
45	単	緊急経済対策事業費 (産業支援センター)	①事業継続に向けた売上確保のため、新型コロナウイルス感染症防止対策や新事業に取り組む事業者を県と連携して支援する。 ②③ 感染症防止対策に係る経費、新事業展開に係る経費 補助対象経費の4/5以内(補助下限100千円、補助上限800千円) 対象者:117件(当初分) ④市内中小企業、個人事業者など	R2.6.8	R3.3.31	5,000,000	5,000,000	島根県と連携して「商業・サービス業感染症対応支援事業補助金」 ・延べ 210件 ※No.44の再掲	市内飲食店、サービス業者の感染予防対策の推進につながった。 【対象者等の評価】 ※No.44の再掲
46	補	学校保健特別対策事業費 補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①新型コロナウイルス感染症対策のため、学校現場や子どもたちの学習保障の取組みを支援を行う。 ②③ 5月1日時点の児童生徒数に応じ交付する(交付額:1,000~2,000千円) ・校舎用消毒液等@300千円×25校 ・家庭学習に必要な教材費@100千円×25校 ・非接触型体温計及び耳鼻科検針器具消毒器17,500千円 ④市内小中学校25校	R2.9.30	R3.3.31	27,500,000	13,750,000	感染症対策としてはマスクやアルコール消毒液、アクリルパネル等の消耗品購入を行うとともに3密回避など接触を避けることを目的として非接触型温度計やパーテーションや屋外の密を避ける目的でテントなどの購入を図った。 【主な購入品】 ・マスク・アルコール消毒液、アクリルパネル ・非接触型温度計 ・パーテーション、テントなど	各学校における感染症予防対策につながったとともに、学校教育活動を継続できるような支援にもつながった。 【担当課評価】
48	補	中小企業経営支援等対策 費補助金	①事業継続に向けた売上確保のため、新型コロナウイルス感染症防止対策や新事業に取り組む事業者を県と連携して支援する。 ②③ 感染症防止対策に係る経費、新事業展開に係る経費 補助対象経費の4/5以内(補助下限100千円、補助上限800千円) 対象者:108件(追加見込分) ④市内中小企業、個人事業者など	R2.6.8	R3.3.31	60,311,250	6,031,125	島根県と連携して「商業・サービス業感染症対応支援事業補助金」 ・延べ 210件 ※No.44の再掲	市内飲食店、サービス業者の感染予防対策の推進につながった。 【対象者等の評価】 ※No.44の再掲
49	単	緊急経済対策事業費 (産業支援センター)	①事業継続に向けた売上確保のため、新型コロナウイルス感染症防止対策や新事業に取り組む事業者を県と連携して支援する。 ②③ 感染症防止対策に係る経費、新事業展開に係る経費 補助対象経費の4/5以内(補助下限100千円、補助上限800千円) 対象者:108件(追加見込分) ④市内中小企業、個人事業者など	R2.6.8	R3.3.31	6,031,125	6,031,125	島根県と連携して「商業・サービス業感染症対応支援事業補助金」 ・延べ 210件 ※No.44の再掲	市内飲食店、サービス業者の感染予防対策の推進につながった。 【対象者等の評価】 ※No.44の再掲
50	単	匹見保育所管理運営事業 費 (子ども福祉課)	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、保育所のトイレを和式から洋式に改修する。 ②工事請負費 ③④工事請負費(トイレ洋便器化:屋外1箇所、屋内1箇所) 1,037千円	R3.2.5	R3.3.31	1,034,000	1,034,000	匹見保育所のトイレについて、和式2基から洋式2基へ変更済み。 ・契約日令和3年2月5日 ・完成日令和3年3月29日	衛生面を改修したことにより、今後、感染症予防対策として期待できる。 【担当課評価】 感染予防対策の実施により、安心して保育が実施できる。 早期に対応してもらいたい。 【施設職員からの評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
51	単	放課後児童対策事業費 (子ども福祉課)	①エアコンの老朽化が進み、十分な室温が確保できない児童クラブについて、例年以上に換気を徹底していることも考慮し、新たなエアコンを設置することにより、児童の安全確保を図る。 ②備品購入費(エアコン購入経費) ③1台、190千円 ④益田市立安田小学校内さくら児童クラブ室	R3.1.14	R3.1.14	189,200	189,200	コロナ感染症対策として、例年以上に換気を行う必要があった為、児童の健康を考慮し、適正な室温を確保するためにエアコンを1台増設した。 ・ルームエアコン(1.5馬力)1台	感染症対策を講じながらも適正な室温を維持することができた。 【担当課評価】 早めの対応をしてもらいありがたかった。 1台分が追加となり環境改善にもつながった。 【施設職員からの評価】
52	単	ひとり親世帯支援活動事業 (子ども福祉課)	①ひとり親世帯に対する新型コロナウイルス対策への支援 ②交付金、事務費 ③ イ給付金 ・受給対象者 30世帯×50千円=1,500千円 20人(2子以降追加)×30千円=600千円 ロ事務費 ・消耗品 31千円 ・郵券料 9千円 ④児童扶養手当受給者等(世帯)	R3.1.29	R3.3.31	2,085,139	1,735,139	益田市ひとり親世帯臨時特別給付金(市独自事業) ○児童扶養手当受給者分 21件 1,620,000円 ○公的年金等受給者分 2件 100,000円	新型コロナウイルス感染症の影響により、国が実施する給付金の対象外となるひとり親世帯において子育てに係る負担の増加、収入の減少等により特に大きな困難が心身等に生じていることに鑑み、ひとり親世帯臨時特別給付金支給要領(国給付金)の支給の対象とならないひとり親世帯へ給付金を支給することで、家計の臨時かつ特別な支援をすることにつながった。 【担当課評価】 ・十分家計の支えとなった。 ・やや、家計の支えとなった。 ・申請手続きは簡潔で、分かりやすかった。 【受給者からの評価】
53	単	福祉施設等感染症対策事業 (人権センター)	①人権センターの空調設備を改修し、衛生環境等の向上により新型コロナウイルスの感染拡大を防止する。 ②③④ ・益田市人権センター 空調設備566千円	R3.2.10	R3.3.19	565,400	565,400	益田市人権センターの空調設備の改修を実施した。	衛生環境等の向上により感染症予防対策につながった。 【担当課評価】

No	補助・単独	事業名 (所管課)	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金相当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
54	補	子ども・子育て支援交付金	・放課後児童健全育成事業 ①緊急事態宣言下に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、放課後児童クラブを閉所した期間における利用料について、また閉所日においては利用を自粛した児童に係る利用料の免除を行う。 ②③閉所日及び登所を自粛した日数に応じて利用料を日割する。 ④各放課後児童クラブ(全16クラブ) ・子育て援助活動支援事業 ①緊急事態宣言下における小学校の休校に伴い、ファミリーサポートセンターにおいて預かりを希望する児童の利用料を助成する。 ②③利用した日数に応じて助成する。 ④ファミリーサポートセンター(1施設)	R2.4.1	R2.5.31	1,983,000	661,000	○放課後児童健全育成事業 【4・5月分放課後児童クラブ利用料】 ・利用料:4,230,455円 ・減免料:2,368,255円 ・対象者:463名 ○子育て援助活動支援事業 ・小学校臨時休校2日間の子どもの見守り ・3名の小学生が対象 ・依頼者は一人親 ・(600円+300円+300円)×4h×2日=9,600円	○放課後児童健全育成事業 放課後児童クラブの閉所又は利用を自粛した期間の利用料を日割りで減免したことにより、利用者の負担軽減につながった。 【担当課評価】 ○子育て援助活動支援事業 ・不特定多数との接触を避けることで、感染予防対策につながった。 ・制度の利用により勤務が可能になったことで、経済対策につながった。 【担当課評価】
55	補	障害者総合支援事業費補助金	障害者総合支援事業費補助金(特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため特別支援学校等の臨時休業により追加的に生じた放課後等デイサービスの利用者負担の増加について、市町村が行う補助に都道府県が補助を行う事業に対する国庫補助 ②③利用日増加、休業日切替分報酬差額、延長支援加算増加に係る利用者負担額分を全額補助 ④放課後等デイサービス支給決定保護者	R2.4.1	R3.3.31	28,505	7,127	・対象児童 のべ23人 ・サービス提供事業所数 8事業所	支給決定保護者の利用者増額分の負担軽減につながった。 【担当課評価】
56	補	障害者総合支援事業費補助金	障害者総合支援事業費補助金(新型コロナウイルス感染拡大に伴う訪問入浴サービス等体制強化事業) 上記事業のうち移動支援事業として、特別支援学校の通学支援について、コロナウイルス感染防止のため車内の密を緩和するため台数を増やすことにより生じる介助者増員の経費 ②③ 通学支援対象者5名、委託料増額分(566千円) ④通学支援の受託事業者	R2.4.1	R3.3.31	555,750	140,750	朝の通学便を1便→2便で対応。 通常 朝1便、夕2便 コロナ対応 朝2便、夕2便	通学時の密を回避することができ、感染予防につながった。 【担当課評価】
57	単	観光交通事業者支援事業費(観光交流課)	①新型コロナウイルス感染症の影響を受ける観光交通事業者を支援するため、貸切バス事業者及びタクシー事業者に対して支援を行う。 ②〔需用費〕情報発信に係る経費 【負担金補助及び交付金】観光交通事業者支援金 ③〔需用費〕消耗品費 80千円 【負担金補助及び交付金】 貸切バス事業者 100,000円×22台=2,200千円 タクシー事業者 30,000円×75台=2,250千円 ④市内に本店又は営業所を置く観光交通事業者	R3.2.24	R3.3.31	3,567,778	3,567,778	補助金交付実績 ・タクシー事業者 2社 ・貸切バス事業者 5社	交通事業者に対する支援につながった。 【担当課評価】